

# 課題名：呼吸リハビリテーション施行患者における身体機能の特徴ならびに規定因子に関する前向き観察研究

## 1. 研究の対象

2019年7月1日から2023年3月31日までの間に当院に入院し、急性期および周術期の呼吸リハビリテーションを行った方

※急性期は「病態が不安定な状態から治療によりある程度安定した状態に至るまでの一連の期間」を、周術期は「術前から術後の一連の期間」を意味します。

## 2. 研究目的・方法・研究期間

目的：本研究は、当院に入院した患者さまが、退院時および退院後により良い健康状態で過ごすことができるように、健康状態が悪化する要因を調査するために行います。この要因を明らかにすることは、呼吸リハビリテーション内容の再考に役立ち、患者さまの健康状態をより良くする呼吸リハビリテーションの提供につながると考えています。

方法：2019年7月1日から2023年3月31日までの間に当院に入院した全患者のうち、急性期および周術期に呼吸リハビリテーションを施行した方を対象とし、診療録（カルテ）より情報を収集します。得られた情報を用いて、退院時および退院後の健康状態の良し悪しを判別する方法を知るために、各種解析を行います。

研究期間：実施承認日から2025年3月31日まで

※呼吸リハビリテーションとは、「呼吸器に関連した病気を持つ患者が、可能な限り疾患の進行を予防あるいは健康状態を回復・維持するため、医療者と協同的なパートナーシップのもとに疾患を自身で管理して、自立できるよう生涯にわたり継続して支援していくための個別化された包括的介入」と定義されています。

呼吸リハビリテーションの対象として、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、肺炎、間質性肺炎、急性呼吸促拍症候群などの急性呼吸不全といった肺病変を伴う疾患に加えて、外科周術期における呼吸器合併症の予防・改善や人工呼吸器管理を要する患者のケアなどが挙げられます。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録より臨床情報（年齢、性別、身長、体重、診断名、治療歴・治療内容、合併症、既往歴、健康状態など）、検査データ（呼吸機能検査、放射線画像、血液検査など）、およびリハビリテーションで得られた情報（実施内容、身体機能、身体活動量など）を収集します。これらの項目は、通常の診療の一環として診療録に記載されているものであり、本研究の参加によって特別に追加して収集する項目はありません。

#### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学医学部附属病院 リハビリテーション部

理学療法士 水野陽太（研究責任者）

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

名古屋大学医学部附属病院 リハビリテーション部

電話番号： 052-744-2687 FAX 番号： 052-744-2688